

(第一紙) T13p116b23～

- 1 「 』以此慧明力故能知一切法
- 2 「 』實德復問□何謂過去未來**法**
- 3 「 』**藏**答言一切**法於過去除无**生於未來際**无**滅是名知過去未來際實德復問若
- 4 見過去未來際者為何所見虛空藏答言見

(第一紙) T13p116b28～

- 1 二俱離實德復問何謂二俱離虛空藏答言
- 2 「 』**者善男**□若有□**法生**「 』則
- 3 「 』以然者由有生故則有滅有生
- 4 「 』**有**斷常之見若不見有法從自性他
- 5 **性**生者則見因緣若見因緣則見法若見法
- 6 者則見如來若見如來者則見如若見如者
- 7 則不滯於斷亦不執於常若不常不斷者即
- 8 **无**生**无**滅實德復問善男子若**无**生**无**滅云
- 9 「 』**教**虛空藏答言假言說故名之法耳
- 10 「 』有空故有色差別名所謂青黃
- 11 「 』紫色頗梨色**瑠璃**色麤色細色長色
- 12 短色方色円色虛空不為如是等法所染然
- 13 一切色自性亦空一切諸法亦復如是同虛
- 14 空性但假言說有名教耳所謂善法不善法
- 15 世間法出世間法応作法不応作法有漏法
- 16 「 』有為**法无**為法而菩薩亦不作一切
- 17 「 』所作福行皆**見**。虚誑非真不堅固是
- 18 **菩薩**知一切行非行平等捨離一切相成就
- 19 般若波羅蜜力故迴向菩提而亦不見菩提
- 20 有增有減不於色中求菩提亦不於受想行
- 21 識中求菩提菩薩以**无**求故住於清淨戒衆

1 除=際【大】 「除」の右傍に「際」(朱書)あり。
 2 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 3 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 4 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 5 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 6 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 7 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 8 瑠璃【大】 大正蔵に校注なし。
 9 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 10 見=是【大】 大正蔵に校注なし。

- 22 脩²³无²³願解脫門満足一切諸願知生死性同
- 23 □□性雖入究竟涅槃為断除衆生虚妄顛
- 24 倒故行菩薩行亦无²⁴行法可行善男子如是

(第二紙) T13p116c23~

- 1 菩薩入於涅槃行菩薩行善男子凡有所作
- 2 皆是生死无²有所作是名涅槃菩薩所行是
- 3 无³所作是故菩薩名入涅槃行菩薩行善男
- 4 子凡有染着巢⁴窟妄想戲論取相是名生死
- 5 涅槃者无⁵染着巢⁵窟妄想戲論取相是名涅槃
- 6 菩薩以脩⁶无⁶樂着巢⁶窟妄想戲論取相行
- 7 菩薩行是名菩薩入於涅槃行菩薩行当說
- 8 此法時有五百菩薩得无⁸生法忍
- 9 爾時世尊讚虚空藏菩薩言善哉善哉賢士
- 10 快說法性称菩薩行真実不異虚空藏白仏
- 11 言世尊此是如来快也所以者何由世尊慧
- 12 明故我等得斯辯分世尊喻如日光照闇浮
- 13 提由日威德力故有眼之者得見色像作諸
- 14 事業由於如来大智力故照一切衆生及諸
- 15 世界亦復如是諸法実性不可言說諸言說
- 16 性与虚空等是故諸法不可得数凡有数法
- 17 則有限量凡有限量則是有為凡有有為則
- 18 可知可断可脩¹⁸凡是可知可断可脩¹⁸則有得
- 19 有證若於¹⁹名数法思惟籌量分別不見有法
- 20 可知可断可脩²⁰可證可得故即无²⁰有得所以然

11 无¹¹無【大】 大正蔵に校注なし。
 12 脩¹²修【大】 大正蔵に校注なし。
 13 无¹³無【大】 大正蔵に校注なし。
 14 无¹⁴無【大】 大正蔵に校注なし。
 15 无¹⁵無【大】 大正蔵に校注なし。
 16 无¹⁶無【大】 大正蔵に校注なし。
 17 巢¹⁷樞【大】 大正蔵の校注には「樞¹⁷巢¹⁷（聖）*」とある。
 18 无¹⁸無【大】 大正蔵に校注なし。
 19 巢¹⁹樞【大】 大正蔵に校注なし。
 20 脩²⁰修【大】 大正蔵に校注なし。
 21 无²¹無【大】 大正蔵に校注なし。
 22 巢²²樞【大】 大正蔵に校注なし。
 23 无²³無【大】 大正蔵に校注なし。
 24 脩²⁴修【大】 大正蔵に校注なし。
 25 脩²⁵修【大】 大正蔵に校注なし。
 26 若於²⁶有【大】 大正蔵に校注なし。

- 21 者以一切法²⁹无²⁹生故能如是正見諸法於諸
- 22 法中不生愛染以³⁰无³⁰愛染故則³¹无³¹有着以³²无³²
- 23 着故則³³无³³近以³⁴无³⁴近故則³⁵无³⁵愛³⁶无³⁷取何謂³⁸无³⁸
- 24 受³⁹取謂色若常若⁴⁰无⁴⁰常⁴¹无⁴¹受無取受想行

(第四紙) T13p117a19~

- 1 識若常若⁴²无⁴²常⁴³无⁴⁴受⁴⁴无⁴⁴取色若苦若樂若有
- 2 我若⁴⁵无⁴⁵我若淨若不淨⁴⁶无⁴⁶受⁴⁷无⁴⁷取受想行識
- 3 若苦若樂若有我若⁴⁸无⁴⁸我⁴⁹无⁴⁹受⁵⁰无⁵⁰取色若空
- 4 若非空⁵¹无⁵¹受⁵²无⁵²取受想行識若空若非空⁵³无⁵³
- 5 受無取色若離若非離無受無取受想行識
- 6 若離若非離無受無取菩薩以無受無取故
- 7 得諸法無受二昧住是二昧已諸仏世尊以
- 8 無上心通授是菩薩記是菩薩雖入涅槃見
- 9 一切衆生究竟同涅槃性為教化衆生故不
- 10 捨大誓莊嚴及菩薩大悲云何菩薩入於涅
- 11 槃行菩薩行善男子凡有所作名為生死凡

27 脩^{||}修^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 28 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 29 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 30 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 31 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 32 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 33 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 34 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 35 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 36 愛^{||}受^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 37 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 38 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 39 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 40 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 41 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 42 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 43 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 44 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 45 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 46 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 47 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 48 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 49 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 50 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 51 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 52 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。
 53 无^{||}无^{||}【大】 大正蔵に校注なし。

「愛」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「受」あり。

- 12 無所作名般⁵⁴涅槃菩薩以正智慧見一切諸
- 13 行是離⁵⁵菩薩以法明眼明了見故能說如來
- 14 智明爾時宝德菩薩問虛空藏菩薩言善男
- 15 子汝何為自隱己智言盡是如來力邪⁵⁶虛空
- 16 藏答宝德言善男子如來豈不說隱善顯惡
- 17 也善男子我還問汝隨意答我善男子於汝
- 18 意云何若無阿那婆達多龍王時阿耨大池
- 19 能出四河使諸衆生得受用不宝德答言不
- 20 也虛空藏言善男子若無如來則無法律菩
- 21 薩無由得成大智之海亦不能利益一切衆
- 22 生以如來出世故則有法律諸菩薩得成大
- 23 智之海亦能度化一切衆生善男子是故当
- 24 智⁵⁷一切菩薩所得辯說能以利益衆生皆是

(第五紙) T13p117b14~

- 1 如來神力宝德復問善男子諸如來辯可得
- 2 轉至菩薩心不虛空藏答言不也宝德言云
- 3 何由如來力故得辯說也虛空藏答言善男
- 4 子喻如巧種果樹因緣和合便得果実然樹
- 5 非即果不離樹善男子如來所說法菩薩
- 6 於此法中善順行故便生大智明辯因仏說
- 7 得亦无⁵⁸有轉宝德言希有善男子因緣生法
- 8 如是甚深難測虛空藏言善男子一切諸法
- 9 究竟无⁵⁹生宝德言善男子諸法謂從因⁶⁰緣生
- 10 虛空藏言善男子生已生也未生生也宝德
- 11 言善男子生已不生未生亦不生虛空藏言
- 12 善男子是故无⁶¹生宝德言善男子緣中有因
- 13 邪⁶²虛空藏答言无⁶³也宝德言因中有緣邪⁶⁴虛

54 般⁵⁴為【大】 大正藏に校注なし。
 55 是離⁵⁵離相【大】
 56 邪⁵⁶耶【大】 大正藏に校注なし。
 57 智⁵⁷知【大】 大正藏に校注なし。
 58 无⁵⁸無【大】 大正藏に校注なし。
 59 无⁵⁹無【大】 大正藏に校注なし。
 60 【因】一【大】 大正藏に校注なし。
 61 无⁶¹無【大】 大正藏に校注なし。
 62 邪⁶²耶【大】 大正藏に校注なし。
 63 无⁶³無【大】 大正藏に校注なし。
 64 邪⁶⁴耶【大】 大正藏に校注なし。

- 14 空藏答言无⁸⁵也宝德言於汝意云何若因若
- 15 緣自实有性邪⁸⁶虚空藏言无⁸⁷也宝德言善男
- 16 子於汝意云何諸法无⁸⁸因緣生邪⁸⁹虚空藏答
- 17 言不也善男子是故一切法无⁹⁰自性无⁹¹生无⁹²起
- 18 无⁹³出是以緣不生因不生緣自性不生自
- 19 性他性亦不生他性自性不生他性他性不
- 20 生自性是故說一切法自性无⁹⁴生所以者何
- 21 以如无⁹⁵生无⁹⁶滅法性實際亦无⁹⁷生无⁹⁸滅如如
- 22 法性實際如來所覺一切諸法亦復如是无⁹⁹
- 23 生无¹⁰⁰滅宝德言善男子如來亦不出世也虛
- 24 空藏答言此不応說也所以者何如來於一

(第六紙) T13p117c10~

- 1 切法盡不可說不可言出不得言不出若有
- 2 人問言如來出世邪¹⁰¹不出世邪¹⁰²智者為不謗
- 3 如來故心置不答宝德問言云何応置虚空
- 4 藏言如法性住応如是置宝德言云何法性
- 5 住虚空藏答言如虚空性住无¹⁰³所住法性
- 6 亦如是住如法性衆生性亦爾如衆生性一
- 7 切法亦爾如一切法如來亦是住无¹⁰⁴所
- 8 住无¹⁰⁵住処故无¹⁰⁶住无¹⁰⁷不住是故不得言生不

85 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 86 邪||耶【大】 大正藏に校注なし。
 87 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 88 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 89 邪||耶【大】 大正藏に校注なし。
 90 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 91 邪||耶【大】 大正藏に校注なし。
 92 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 93 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 94 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 95 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 96 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 97 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 98 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 99 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 100 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 101 邪||耶【大】 大正藏に校注なし。
 102 邪||耶【大】 大正藏に校注なし。
 103 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 104 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 105 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 106 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 107 无||無【大】 大正藏に校注なし。

- 9 得言滅宝徳言善男子如来出世事甚深甚
- 10 深虚空蔵答言善男子若能如実解了縁生
- 11 法者名為仏出世宝徳言善男子誰当解此
- 12 説也虚空蔵答言若於一切法中不得増減
- 13 者宝徳問言何謂為増虚空蔵答言増者所
- 14 謂増上句謂於无⁸⁸中妄生増上无⁸⁹増上句者
- 15 是平等句无⁹⁰等句无⁹¹文字句无⁹²句无⁹³教句无⁹⁴
- 16 教之中无⁹⁵句无⁹⁶増上亦无⁹⁷心意識以是故非
- 17 句喻如空中鳥跡究竟已无⁹⁸当无⁹⁹而言鳥跡
- 18 於一切法中无¹⁰⁰有字句亦復如是无¹⁰¹句而仮
- 19 名為句如无¹⁰²跡仮名為跡如来出世亦无¹⁰³有
- 20 出仮名為出亦復如是是故智者不応取着
- 21 以无¹⁰⁴取着故仮名為出而常依无¹⁰⁵出所以者
- 22 何以无¹⁰⁶生是一切諸法実性故无¹⁰⁷生者則无¹⁰⁸
- 23 所有是故名一切法无¹⁰⁹无¹¹⁰所有為¹¹¹性无¹¹²所有

(第七紙) T13p118a04~

- 1 性无¹¹³有住処无¹¹⁴住処故是无¹¹⁵住際一切諸法

- 87 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 88 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 89 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 90 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 91 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 92 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 93 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 94 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 95 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 96 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 97 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 98 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 99 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 100 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 101 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 102 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 103 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 104 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 105 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 106 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 107 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 108 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 109 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 110 【无】 - 【大】 大正蔵に校注なし。
- 111 【為】 - 【大】 大正蔵に校注なし。
- 112 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

- 2 及无¹¹⁶住際即是實際實際即是一切法際是
- 3 故言一切法与實際等言實際者是三場分
- 4 断際不可壞際不断常際如實際三世等
- 5 際以如是等際等一切法際所以者何實際
- 6 及我際无¹¹⁷二无¹¹⁸別實際及衆生寿命養育人
- 7 際无¹¹⁹二无¹²⁰別實際及我見際无¹²¹二无¹²²別於我
- 8 見中无¹²³有實際能如是如實知者則无¹²⁴有二
- 9 十種我見所以者何以實際中无¹²⁵一无¹²⁶多故
- 10 實際与平等等无¹²⁷来无¹²⁸去无¹²⁹盡无¹³⁰減¹³¹實際究
- 11 竟空故是故言一切法是无¹³²盡門无¹³³盡際涅
- 12 槃者无¹³⁴盡所謂空故无¹³⁵性故如涅槃无¹³⁶盡无¹³⁷
- 13 不盡一切法亦復如是以是故言一切法与
- 14 涅槃等諸法无¹³⁸等无¹³⁹不等无¹⁴⁰疇¹⁴¹匹故喻如虛
- 15 空无¹⁴²有疇¹⁴³匹一切諸法亦復如是若見有疇¹⁴⁴

- 113 无¹¹³无¹¹⁴【大】 大正蔵に校注なし。
- 114 无¹¹⁴无¹¹⁵【大】 大正蔵に校注なし。
- 115 无¹¹⁵无¹¹⁶【大】 大正蔵に校注なし。
- 116 无¹¹⁶无¹¹⁷【大】 大正蔵に校注なし。
- 117 无¹¹⁷无¹¹⁸【大】 大正蔵に校注なし。
- 118 无¹¹⁸无¹¹⁹【大】 大正蔵に校注なし。
- 119 无¹¹⁹无¹²⁰【大】 大正蔵に校注なし。
- 120 无¹²⁰无¹²¹【大】 大正蔵に校注なし。
- 121 无¹²¹无¹²²【大】 大正蔵に校注なし。
- 122 无¹²²无¹²³【大】 大正蔵に校注なし。
- 123 无¹²³无¹²⁴【大】 大正蔵に校注なし。
- 124 无¹²⁴无¹²⁵【大】 大正蔵に校注なし。
- 125 无¹²⁵无¹²⁶【大】 大正蔵に校注なし。
- 126 无¹²⁶无¹²⁷【大】 大正蔵に校注なし。
- 127 无¹²⁷无¹²⁸【大】 大正蔵に校注なし。
- 128 无¹²⁸无¹²⁹【大】 大正蔵に校注なし。
- 129 无¹²⁹无¹³⁰【大】 大正蔵に校注なし。
- 130 无¹³⁰无¹³¹【大】 大正蔵に校注なし。
- 131 減¹³¹【大】 大正蔵に校注なし。
- 132 无¹³²无¹³³【大】 大正蔵に校注なし。
- 133 无¹³³无¹³⁴【大】 大正蔵に校注なし。
- 134 无¹³⁴无¹³⁵【大】 大正蔵に校注なし。
- 135 无¹³⁵无¹³⁶【大】 大正蔵に校注なし。
- 136 无¹³⁶无¹³⁷【大】 大正蔵に校注なし。
- 137 无¹³⁷无¹³⁸【大】 大正蔵に校注なし。
- 138 无¹³⁸无¹³⁹【大】 大正蔵に校注なし。
- 139 无¹³⁹无¹⁴⁰【大】 大正蔵に校注なし。
- 140 无¹⁴⁰无¹⁴¹【大】 大正蔵に校注なし。
- 141 疇¹⁴¹【大】 大正蔵の校注には「疇匹¹⁴¹疇匹¹⁴¹（聖¹⁴¹）*」とある。
- 142 无¹⁴²无¹⁴³【大】 大正蔵に校注なし。
- 143 疇¹⁴³【大】 大正蔵に校注なし。
- 144 疇¹⁴⁴【大】 大正蔵に校注なし。

- 16 匹言有涅槃者已言有涅槃便求涅槃則与
- 17 賢聖相違已言有涅槃故便言此応知此応
- 18 断此応證此応脩¹⁴⁵ 此応生此応滅如是行不
- 19 具者不能如実知不能如実見則不識不解
- 20 不知不見不識不解一切法故則着於文字
- 21 於諸法中妄生諍競生諍競者於仏法中則
- 22 為可愍所以然者如¹⁴⁶ 如來說言沙門之法不
- 23 応諍競爾時大徳阿難白仏言希有世尊此

(第八紙) T13p118a28~

- 1 賢士才辯乃能如是甚深明了難解難測也
- 2 於一切法不從他受如身自證能如是説虚
- 3 空蔵菩薩即謂阿難言大徳我已¹⁴⁵ 自身證知
- 4 是故如所證知能如是説何以故我身即是
- 5 虚空以虚空證知一切法為虚空印所印大
- 6 徳阿難凡諸菩薩脩¹⁴⁵ 身善解身相者能以此
- 7 身作諸仏事現種種色象¹⁴⁹ 而亦不退於眞法¹⁵⁰
- 8 身亦復不離結業生身又復不過於平等法¹⁵⁰
- 9 性¹⁵¹ 變現¹⁵¹ 化身悉得自在於一切仏国普能示
- 10 現終已不隱応化之身如是行者皆可名之
- 11 為身證行阿難問言善男子汝於法頗有證
- 12 邪¹⁵² 虚空蔵答言大徳阿難我不見法離於身
- 13 身離於法阿難言善男子汝若身證者汝得
- 14 阿羅漢果邪¹⁵³ 虚空蔵言大徳无¹⁵⁴ 得不得无¹⁵⁵ 所
- 15 得故於一切法无¹⁵⁵ 悩行故離貪欲瞋恚愚癡
- 16 故是謂阿羅漢阿難言善男子汝何時当般
- 17 涅槃邪¹⁵⁷ 虚空蔵言大徳阿羅漢者无¹⁵⁸ 般涅槃

¹⁴⁵ 脩 || 修 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁴⁶ (如) - 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁴⁷ 已 || 已 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁴⁸ 脩 || 修 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁴⁹ 象 || 像 【大】 大正蔵に校注なし。「象」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「象？」(朱書)あり。

¹⁵⁰ (法) - 【大】

¹⁵¹ 變現 || 現變 【大】

¹⁵² 邪 || 耶 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁵³ 邪 || 耶 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁵⁴ 无 || 無 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁵⁵ 无 || 無 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁵⁶ 无 || 無 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁵⁷ 邪 || 耶 【大】 大正蔵に校注なし。

- 18 知一切法究竟是涅槃亦无¹⁵⁷涅槃想¹⁵⁸凡愚之
- 19 人有如是分別戲論行言此是生死此是涅槃阿羅漢者无¹⁵⁹是戲論也大德阿難言善男
- 20 子如我解汝所說義夫菩薩者不应言是凡
- 21 夫亦不应言是学不应言是无¹⁶⁰学去離二相
- 22 故虚空藏言大德阿難善哉善哉以非凡夫
- 23 非学非无¹⁶¹学故在在处处皆能示現於一切

(第九紙) T13p118b24~

- 1 处亦不取着爾時五百大声聞各以己身所
- 2 着憂多羅僧¹⁶²奉上虚空藏奉上衣已一時同
- 3 声說如是言其有衆生深心發阿耨多羅三
- 4 藐三菩提者快得善利於如是大智法藏中
- 5 不随¹⁶³其外所上之衣即便不現彼諸声聞問
- 6 虚空藏言衣何所至也虚空藏答言入我藏
- 7 中又言如來知之汝等可問爾時諸声聞即
- 8 白仏言世尊衣何所至也仏告諸比丘東方
- 9 去此過无¹⁶⁴量阿僧祇諸仏刹土有世界名曰
- 10 袈裟幢其界有仏号曰山王如來虚空藏已
- 11 遣此衣至彼世界諸声聞即白仏言世尊以
- 12 何因緣遣衣至彼邪¹⁶⁵仏言欲以此衣於彼世
- 13 界施作仏事虚空藏菩薩於此所說如虚空
- 14 藏等三昧印法門此三昧於彼衣中当演其
- 15 義音彼世界无¹⁶⁶量阿僧祇諸菩薩聞此法故
- 16 当得无¹⁶⁷生法忍諸比丘当知菩薩作如是種
- 17 種方便利益衆生說此法時於上虚空中雨
- 18 无¹⁶⁸量金色華以此諸華¹⁶⁹遍覆妙宝莊嚴堂於

158 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 159 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 160 想||相【大】
 161 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 162 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 163 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 164 僧||繪【大】
 165 随||墮【大】 大正藏に校注なし。「随」の右傍に「墮」(朱書)あり。
 166 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 167 邪||耶【大】 大正藏に校注なし。
 168 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 169 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 170 无||無【大】 大正藏に校注なし。

- 19 諸華¹⁷²中出如是法音其有衆生信此虛空藏
- 20 所說法善順思惟分別其義者皆當為不退
- 21 轉印所印畢定得至无¹⁷³上道場爾時阿難白
- 22 仏言世尊是何瑞応乃雨此華¹⁷⁴出如是妙音
- 23 安慰衆生仏告阿難有梵天名曰光明華¹⁷⁵嚴
- 24 從梵天上与六十八百千梵衆俱欲来詣此

(第十紙) T13p118c19~

- 1 如來說此語已時諸梵衆忽然来至妙宝莊
- 2 嚴堂上頂礼仏足右繞¹⁷⁶七¹⁷⁷市¹⁷⁷遶七¹⁷⁸市¹⁷⁸已在一
- 3 面立合掌向仏而白仏言希有世尊虛空藏
- 4 菩薩不可思議戒衆清淨善脩¹⁷⁹諸定善分別
- 5 大智慧善能遊戲諸大神通善能滿足大弘
- 6 誓願善能成就大權方便善能莊嚴身口及
- 7 意善能於諸法中成就大自在力是虛空藏
- 8 菩薩身口及意都无¹⁸⁰所作无¹⁸¹有分別憶想而
- 9 能現此不可思議莊嚴神變又能顯現无¹⁸²量
- 10 百千法門亦能出入百千諸三昧門從昔以
- 11 来常樂脩¹⁸³習成就諸善法故世尊諸菩薩不
- 12 応於往昔所脩¹⁸⁴善根不知其因集諸善根亦
- 13 応无¹⁸⁵厭所以者何是因往昔所種善根果報
- 14 故能現如是不可思議神變仏告梵天如是
- 15 如是如汝所言諸菩薩已成就善根資糧及
- 16 出要智方便故能現如是不可思議功德莊
- 17 嚴之事无¹⁸⁶憶想分別亦无¹⁸⁷不分別梵天白仏

- 171 華¹⁷¹花¹⁷¹【大】 大正蔵に校注なし。
- 172 華¹⁷²花¹⁷²【大】 大正蔵に校注なし。
- 173 无¹⁷³無¹⁷³【大】 大正蔵に校注なし。
- 174 華¹⁷⁴花¹⁷⁴【大】 大正蔵に校注なし。
- 175 華¹⁷⁵莊¹⁷⁵【大】 大正蔵に校注なし。
- 176 繞¹⁷⁶遶¹⁷⁶【大】 大正蔵に校注なし。
- 177 市¹⁷⁷市¹⁷⁷【大】 大正蔵に校注なし。
- 178 市¹⁷⁸市¹⁷⁸【大】 大正蔵に校注なし。
- 179 脩¹⁷⁹脩¹⁷⁹【大】 大正蔵に校注なし。
- 180 无¹⁸⁰無¹⁸⁰【大】 大正蔵に校注なし。
- 181 无¹⁸¹無¹⁸¹【大】 大正蔵に校注なし。
- 182 无¹⁸²無¹⁸²【大】 大正蔵に校注なし。
- 183 脩¹⁸³脩¹⁸³【大】 大正蔵に校注なし。
- 184 脩¹⁸⁴脩¹⁸⁴【大】 大正蔵に校注なし。
- 185 无¹⁸⁵無¹⁸⁵【大】 大正蔵に校注なし。
- 186 无¹⁸⁶無¹⁸⁶【大】 大正蔵に校注なし。

「華」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「莊」(朱書)あり。

- 18 言世尊云何菩薩集善根資糧及出要智方便
- 19 便佻告光明莊嚴梵天言善根有三種何等
- 20 為三所謂无¹⁸⁸貪善根无¹⁸⁹恚善根无¹⁹⁰癡善根是
- 21 名善根資糧者所謂捨一切所有脩¹⁹¹慈觀諸
- 22 法是名資糧¹⁹²方便者所謂去離凡夫地不願
- 23 樂声聞辟支仏地進入諸菩薩地是名方便
- 24 智者所謂知捨不善法智知集善法智知迴

(第十一紙) T13p119a15~

- 1 向菩提智是名智菩薩能住如是等正行者
- 2 是名出要復次善根者能發阿耨多羅三藐
- 3 三菩提心資糧者所謂求一切善法方便者
- 4 所謂已作未作善根終不廢忘智者所謂知
- 5 心如幻化如是等法現前了知是名出要復
- 6 次善根者所謂淳至資糧者所謂發動方便
- 7 者所謂深心智者所謂无¹⁹³持无¹⁹⁴動能行如是
- 8 等法者是名出要復次善根者所謂欲善法
- 9 資糧者所謂勝進方便者所謂安住不放逸
- 10 智者所謂捨一切依若¹⁹⁵能行如是等行者是
- 11 名出要復次善根者所謂正信資糧¹⁹⁶者所謂
- 12 不捨本願方便者所謂不捨念定智者所謂
- 13 慧能正住如是等行者是名成就善根資糧¹⁹⁷
- 14 智方便出要復次善根者所謂悅可諸善知
- 15 識資糧者所謂絡¹⁹⁸侍所須恭敬供養尊重利
- 16 益方便者所謂於善知識生世尊想智者所
- 17 謂知時非時而問法能正住如是等行者是
- 18 名出要復次善根者所謂善順聽法資糧者

- 187 无¹⁸⁷無【大】 大正蔵に校注なし。
- 188 无¹⁸⁸無【大】 大正蔵に校注なし。
- 189 无¹⁸⁹無【大】 大正蔵に校注なし。
- 190 无¹⁹⁰無【大】 大正蔵に校注なし。
- 191 脩¹⁹¹修【大】 大正蔵に校注なし。
- 192 粮¹⁹²糧【大】 大正蔵に校注なし。
- 193 无¹⁹³無【大】 大正蔵に校注なし。
- 194 无¹⁹⁴無【大】 大正蔵に校注なし。
- 195 若¹⁹⁵著【大】 大正蔵に校注なし。
- 196 粮¹⁹⁶糧【大】 大正蔵に校注なし。
- 197 粮¹⁹⁷糧【大】 大正蔵に校注なし。
- 198 络¹⁹⁸給【大】 大正蔵に校注なし。

「絡」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「給」（朱書）あり。

- 19 所謂受持不廢忘方便者所謂隨聞能觀智
- 20 者所謂隨所聞而行能正住如是等行者是
- 21 名出要復次善根者所謂值仏悦可資糧者
- 22 所謂護一切諸波羅蜜諸撰法及助道法方
- 23 便者所謂能從一地至於一地智者所謂得
- 24 无¹⁹⁸生法忍菩薩能正住如是等行者是名成

(第十一紙) T13p119b11~

- 1 就善根資糧²⁰⁰方便智出要爾時光明莊嚴梵
- 2 天白仏言希有世尊如來能以四句義捨²⁰¹説
- 3 一切菩薩行世尊一切仏法応於中求爾時
- 4 虚空藏菩薩語梵天言一句亦能捨²⁰²撰一切仏
- 5 法何謂為一所謂離欲句所以然者以一
- 6 切仏法同於離欲如仏法一切法亦然梵天
- 7 是為一句捨²⁰³撰一切仏法復次梵天一空句
- 8 捨²⁰⁴撰一切仏法一切仏法同於空故如仏法
- 9 一切法亦然梵天是為一句捨²⁰⁵撰一切仏法
- 10 所謂无²⁰⁶相句无²⁰⁷願句无²⁰⁸作句无²⁰⁹生句无²¹⁰起句
- 11 如句法性句真際句離句滅句盡句涅槃句
- 12 捨²¹¹撰一切仏法以一切仏法同於涅槃故如
- 13 仏法一切法亦然梵天是為一句捨²¹²撰一切
- 14 仏法所以者何以如是等句皆非句故一切
- 15 仏法非句仮名為句復次梵天欲是離欲句
- 16 所以者何離欲性即是欲故一切仏法亦同
- 17 是性瞋恚是離瞋恚²¹³句所以者何離瞋恚性

- 199 无¹⁹⁹無【大】 大正蔵に校注なし。
- 200 粮²⁰⁰糧【大】 大正蔵に校注なし。
- 201 捨²⁰¹總【大】 大正蔵に校注なし。
- 202 捨²⁰²總【大】 大正蔵に校注なし。
- 203 捨²⁰³總【大】 大正蔵に校注なし。
- 204 捨²⁰⁴總【大】 大正蔵に校注なし。
- 205 捨²⁰⁵總【大】 大正蔵に校注なし。
- 206 无²⁰⁶無【大】 大正蔵に校注なし。
- 207 无²⁰⁷無【大】 大正蔵に校注なし。
- 208 无²⁰⁸無【大】 大正蔵に校注なし。
- 209 无²⁰⁹無【大】 大正蔵に校注なし。
- 210 无²¹⁰無【大】 大正蔵に校注なし。
- 211 捨²¹¹總【大】 大正蔵に校注なし。
- 212 捨²¹²總【大】 大正蔵に校注なし。
- 213 捨²¹³總【大】 大正蔵に校注なし。

- 18 即是瞋恚故愚癡是離愚癡句所以者何離
- 19 愚癡性即是愚癡故一切仏法亦同是性身
- 20 見是實際句所以者何實際性即是身見一
- 21 切仏法亦同是性无明是明句所以者何明
- 22 性即是无明故一切仏法亦同是性乃至苦
- 23 惱是離苦惱句所以者何離苦惱性即是苦
- 24 惱故一切仏法亦同是性色是虛空句所以

(第十一紙) T13p119c06~

- 1 者何虛空性即是色故一切仏法亦同是性
- 2 受想行識是无作句所以者何无作性即是
- 3 識故一切仏法亦同是性地大是虛空句所
- 4 以者何虛空即是地大故一切仏法亦同是
- 5 性水大火大風大是法界句所以者何法界性
- 6 即是風故一切仏法亦同是性眼是涅槃
- 7 句所以者何涅槃性即是眼故一切仏法亦
- 8 同是性耳鼻舌身意是涅槃句所以者何涅
- 9 槃性即是意故一切仏法亦同是性梵天是
- 10 為一句捨撰一切仏法菩薩入如是等一一
- 11 智門皆見一切仏法入於一句梵天喻如大
- 12 海能吞衆流一一句中撰一切仏法亦復如
- 13 是喻如虛空悉能苞容一切色象一一句中
- 14 撰一切仏法亦復如是如是等一切仏法若
- 15 撰若不撰若說若不說不增不減究竟離相
- 16 故梵天喻如算師數数以算籌布在算局上
- 17 然局中无籌中无局所以者何究竟不相
- 18 応故究竟離故如是於上一一句中仮名數
- 19 故言一切仏法皆入一一句而諸仏法不可名
- 20 數算計究竟不相応故究竟離故梵天如仏
- 21 法名數即是一切法名數何以故一切法即

214 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 215 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 216 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 217 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 218 捨=總【大】 大正蔵に校注なし。
 219 象=像【大】 大正蔵に校注なし。
 220 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 221 无=無【大】 大正蔵に校注なし。

- 22 是仏法此法非法非非法自性空故自性離
- 23 故自性究竟无性故无性即是虚空虛空性
- 24 同一切法性此法性非生相非滅相非有処

(第十四紙) T13p120a01~

- 1 相非无処相是故一切法名无相无非相說
- 2 如是一法門時於彼梵衆中有万二千梵天
- 3 皆發阿耨多羅三藐三菩提心復有昔殖
- 4 德本五千梵天得无生法忍
- 5 爾時会中有一菩薩名曰宝手問虛空藏菩
- 6 薩言希有善男子一切佛法及如來法甚深
- 7 難測不可思議又善男子何謂安一切佛法
- 8 根本邪虚空藏菩薩答宝手言善男子菩提
- 9 心是安一切佛法根本一切法住菩提心故
- 10 便得增長宝手菩薩言善男子菩提心者何
- 11 法所撰得不忘失能速至不退轉地虛空藏
- 12 言善男子菩提心為二法所撰得不忘失速
- 13 至不退轉地何等為二所謂淳至畢竟是名
- 14 為二法所撰得不忘失能速至不退轉地宝
- 15 手言善男子此二者為幾法所撰虛空藏言
- 16 此二法為四法所撰何等為四所謂淳至者
- 17 為不虛詐不諂曲所撰畢竟者為无我及上
- 18 進所撰是為二法為四法所撰宝手言善男
- 19 子此四法為幾法所撰虛空藏言善男子此
- 20 四法為八法所撰何等為八所謂不虛詐者
- 21 為不猶予及体真淨所撰不諂曲者為正直
- 22 及正住所撰无我者為不退沒及進所撰上
- 23 進者為功德資糧及智資糧所撰是為四法

222 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 223 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 224 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 225 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 226 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 227 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 228 会=衆【大】 大正蔵に校注なし。
 229 仏=諸【大】
 230 邪=耶【大】 大正蔵に校注なし。
 231 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 232 无=無【大】 大正蔵に校注なし。

24 為八法所撰宝手言善男子此八法復為幾

(第十五紙) T13p120a25~

- 1 法所撰虛空藏言善男子此八法復為十六
- 2 法所撰何等十六所謂不猶予者為大慈及
- 3 大悲所撰体真淨者為身調及心調所撰正
- 4 直者為忍辱及柔和所撰正住者²³⁴无²³⁵憍慢及
- 5 无²³⁶滯礙所撰不退沒者為堅固及力所撰上
- 6 進者為如所作及正行所撰功德資糧²³⁷者為
- 7 始發及究竟不捨所撰智資糧者為求多
- 8 聞及思惟所聞所撰是為八法為十六法所
- 9 撰宝手言善男子此十六法復為幾法所撰
- 10 虛空藏言善男子此²³⁸十六法為二十二法所
- 11 撰何等二十二所謂大慈者為无²³⁹礙心及於
- 12 一切衆生等心所撰大悲者為无²⁴⁰厭倦²⁴¹及勤
- 13 給足一切衆生所撰身調者為不觸²⁴²憍²⁴³及不
- 14 加害所撰心調者為定及寂靜所撰忍辱者
- 15 為受正教及順行所撰柔和者為慙²⁴⁴及愧所
- 16 撰无²⁴⁴憍慢者為謙卑及礼敬所撰无²⁴⁵滯礙者
- 17 為无²⁴⁶垢穢及不強梁所撰堅固者為不犯所
- 18 行及成就本願所撰力者為住正意及不掉
- 19 動所撰如所作者為如説及能行所撰正行
- 20 者為正發及正進所撰始發者為必勝及不
- 21 退所撰不捨者為樂勝及上求所撰求多聞
- 22 者為親近善知識及悅可善知識所撰思惟
- 23 所聞者為智慧及善觀所撰善男子是為十

²³³ 粮=糧【大】 大正蔵に校注なし。

²³⁴ 【為】+【大】 大正蔵に校注なし。「无」の右上に「為」(朱書)あり。

²³⁵ 无=無【大】 大正蔵に校注なし。

²³⁶ 无=無【大】 大正蔵に校注なし。

²³⁷ 粮=糧【大】 大正蔵に校注なし。

²³⁸ 此=是【大】 大正蔵に校注なし。

²³⁹ 无=無【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴⁰ 无=無【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴¹ 倦=倦【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴² 憍=憍【大】 大正蔵の校注には「憍=憍(聖)*」とある。

²⁴³ 慙=慙【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴⁴ 无=無【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴⁵ 无=無【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴⁶ 无=無【大】 大正蔵に校注なし。

24 六法為三十二法所撰宝手言善男子此三

(第十六紙) T13p120b20~

- 1 十二法復為幾法所撰虛空藏答言善男子
- 2 是三十二法為六十四法所撰何等六十四
- 3 法所謂无²⁴⁷礙心者為護我及護彼所撰於一
- 4 切衆生等心者為无²⁴⁸別異及一味所撰无²⁴⁹厭
- 5 倦²⁵⁰者為如夢觀及知生死如幻所撰勤給足
- 6 一切衆生者為諸神通及方便所撰不觸嬾
- 7 者為羞耻及信有業報所撰不加害者為少
- 8 欲及知足所撰定者為无²⁵¹發惱及无²⁵²散失所
- 9 撰寂靜者為捨吾我及離我所撰受正教
- 10 者為求法及欲法所撰順行者為敬重及平
- 11 等无²⁵³疲倦²⁵⁴所撰慙²⁵⁵者為内心断除及外不行
- 12 所撰愧者為信樂仏智及在屏処不行惡所
- 13 撰謙卑者為不傲²⁵⁶慢及知自下所撰礼敬者
- 14 為身端心直所撰无²⁵⁷垢穢者為具静定及脩²⁵⁸智
- 15 慧所撰不強良²⁵⁹者為不鹿獷及不両舌所
- 16 撰不犯所行者為不捨菩提心及念道場所
- 17 撰成就本願者為捨魔事及仏神力持所撰
- 18 正住意者為不輕躁及不掉乱所撰不掉動
- 19 者為如石山及不可移転所撰如説者為所
- 20 作善業及无²⁶⁰熱惱所撰能行者為无²⁶¹虚誑及
- 21 不捨帰趣所撰正発者為離辺見及順觀甚
- 22 深因縁所撰正進者為善巧及方便所撰必

247 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 248 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 249 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 250 倦=倦【大】 大正蔵に校注なし。
 251 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 252 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 253 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 254 倦=倦【大】 大正蔵に校注なし。
 255 慙=慙【大】 大正蔵に校注なし。
 256 傲=傲【大】 大正蔵に校注なし。
 257 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 258 脩=脩【大】 大正蔵に校注なし。
 259 良=梁【大】 大正蔵に校注なし。
 260 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
 261 无=無【大】 大正蔵に校注なし。

23 勝者為不懈慢及踊²⁶³猛所撰不退者為大欲
24 及增進所撰樂勝者為見如來及聞法所撰

(第十七紙) T13p120c15~

- 1 上求者為捨諸地過患及得諸地功德所撰
- 2 親近善知識者為无²⁶³憎嫉及信樂所撰悅可
- 3 善知識者為敬順及不逆教勅所撰智慧者
- 4 為无²⁶⁴常觀及无²⁶⁵我觀所撰善觀者為脩²⁶⁶无²⁶⁷相
- 5 及不怙涅槃所撰善男子是三十二法為六
- 6 十四法所撰宝手復問此六十四法復為幾
- 7 法所撰虛空藏答言善男子此六十四法為
- 8 百二十八法所撰何等為百二十八法所謂
- 9 護我者為斷一切惡及成就一切善根所撰護
- 10 彼者為忍辱及柔和所撰无²⁶⁸別異者為猶如
- 11 水心及如風心所撰一味者為法界觀及如
- 12 如觀所撰如夢觀者為无²⁶⁹移轉觀及无²⁷⁰真實
- 13 觀所撰如幻者為適性示現及无²⁷¹自性觀所
- 14 撰諸神通者為了義及了智所撰方便者為
- 15 大悲及般若波羅蜜所撰羞恥者為不覆藏
- 16 所犯及悔過所撰信有業報者為不放逸及
- 17 畏惡趣所撰少欲者為淨処有齊限及離宿
- 18 穢所撰知足者為易称及易養所撰无²⁷²發惱
- 19 者為究竟及究竟邊際所撰无²⁷³散失者為得
- 20 忍及不退轉地所撰捨吾我者為不計我身
- 21 及与壽命所撰離我所者為无²⁷⁴貪及无²⁷⁵愚癡
- 22 所撰求法者為智及斷所撰欲法者為不着

262 踊²⁶³勇【大】 大正藏に校注なし。
 263 无²⁶⁴无²⁶⁵【大】 大正藏に校注なし。
 264 无²⁶⁶无²⁶⁷【大】 大正藏に校注なし。
 265 脩²⁶⁶修【大】 大正藏に校注なし。
 266 无²⁶⁷无²⁶⁸【大】 大正藏に校注なし。
 267 无²⁶⁹无²⁷⁰【大】 大正藏に校注なし。
 268 无²⁷¹无²⁷²【大】 大正藏に校注なし。
 269 无²⁷³无²⁷⁴【大】 大正藏に校注なし。
 270 无²⁷⁴无²⁷⁵【大】 大正藏に校注なし。
 271 无²⁷⁵无²⁷⁶【大】 大正藏に校注なし。

23 五欲及離煩惱所撰敬重者為起世尊想及
 療救想所撰²⁷⁶无²⁷⁶疲倦²⁷⁷者為身輕及翹勤省²⁷⁸眠

(第十八紙) T13p121a11~

- 1 所撰內心断除者為身念処及受念処所撰
- 2 外不行者為心念処及法念処所撰信樂仏
- 3 智者為深敬重及淨信所撰在屏処不行惡
- 4 者為自證知及諸神天證知所撰不²⁷⁹傲²⁷⁹慢者
- 5 為不自歎譽不譏彼人所撰知自下者為不
- 6 虚称及不踴己德所撰身端者為不行三不
- 7 善業及不犯禁戒所撰心直者為常省己過
- 8 及不説彼短所撰具靜定者為寂靜心及滅
- 9 煩惱所撰²⁸⁰脩²⁸⁰智慧者為選択諸法及知²⁸¹无²⁸¹我
- 10 所撰不僂獵者為常行益事及順忍所撰不
- 11 両舌者為自足眷属及和合別離者所撰不
- 12 捨菩提心者為衆生及為仏智所撰念道場
- 13 者為欲壞於魔衆及成²⁸²就²⁸²正覺所撰捨魔事
- 14 者為正觀及不捨菩提志所撰仏神力持者
- 15 為堅固行及善淳至所撰不輕躁者為堅護
- 16 諸根及不捨境界所撰不掉乱者為觀苦及
- 17 觀空所撰如石山者為不高及不下所撰不
- 18 可移転者為断愛及除恚所撰所作善業者
- 19 為智所作業及捨魔事所撰²⁸³无²⁸³熱惱者為淨
- 20 戒及淨定所撰²⁸⁴无²⁸⁴虚誑者為誠実語及不望
- 21 果報所撰不捨帰趣者為成就賢士業及不
- 22 行怯弱所撰離辺見者為觀²⁸⁵无²⁸⁵生及不敗壞

(第十九紙) T13p121b04~

²⁷⁶ 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
²⁷⁷ 倦=倦【大】 大正蔵に校注なし。
²⁷⁸ 「眠」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「眼」(朱書)あり。大正蔵の校注には「眠=眼(聖)とみえ。」
²⁷⁹ 傲=傲【大】 大正蔵に校注なし。
²⁸⁰ 脩=修【大】 大正蔵に校注なし。
²⁸¹ 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
²⁸² 【就】-【大】
²⁸³ 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
²⁸⁴ 无=無【大】 大正蔵に校注なし。
²⁸⁵ 无=無【大】 大正蔵に校注なし。

- 1 觀所撰順觀甚深因緣者為觀因及觀緣所
- 2 撰善巧者為第一²⁸⁶无²⁸⁶諍競及不²⁸⁷傲²⁸⁷慢所撰方
- 3 便者為離方便及²⁸⁸无²⁸⁸生方便所撰不懈慢者
- 4 為身力及心力所撰勇猛者為勝進心及害
- 5 怨敵所撰大欲者為不求利養及不愛身命
- 6 所撰增進者為²⁸⁹无²⁸⁹愚冥及不退還所撰見如
- 7 來者為²⁹⁰脩²⁹⁰念仏及清淨信所撰聞法者為樂
- 8 至講所及樂請問所撰捨諸地過患者為不
- 9 散乱行及捨離惡知識所撰得諸地功德者
- 10 為方便迴向及不捨本行所撰²⁹¹无²⁹¹憎嫉者為
- 11 能施一切及称意而捨所撰信樂者為²⁹²无²⁹²垢
- 12 行及不濁心所撰敬順者為知世宜及隨順
- 13 行所撰不逆教勅者為捨除不淨及淨正行
- 14 所撰²⁹³无²⁹³常觀者為動轉觀及敗壞觀所撰²⁹⁴无²⁹⁴
- 15 我觀者為不得作者及不得受者所撰²⁹⁵脩²⁹⁵²⁹⁶无²⁹⁶
- 16 相者為不緣境界及除覺所說所撰不怙涅
- 17 槃者為除去²⁹⁷无²⁹⁷明及斷愛着所撰善男子是
- 18 為六十四法為百二十八法所撰
- 19 爾時宝手菩薩從虛空藏菩薩聞分別如是
- 20 等法門已歡喜踊躍得未曾有即白虛空藏
- 21 菩薩言希有大士汝乃能成就如斯捷疾辯
- 22 才及巧分別辯事事所問盡能開解如我今
- 23 者解汝所說義趣及与文字以如是方便若
- 24 一劫若減一劫說不可盡辯亦²⁹⁸无²⁹⁸斷爾時仏

(第十一十紙) T13p121b27~

1 告宝手菩薩言善男子如是如是如汝所言

- ²⁸⁶无²⁸⁶無²⁸⁶【大】 大正藏に校注なし。
- ²⁸⁷傲²⁸⁷無²⁸⁷【大】 大正藏に校注なし。
- ²⁸⁸无²⁸⁸無²⁸⁸【大】 大正藏に校注なし。
- ²⁸⁹无²⁸⁹無²⁸⁹【大】 大正藏に校注なし。
- ²⁹⁰脩²⁹⁰無²⁹⁰【大】 大正藏に校注なし。
- ²⁹¹无²⁹¹無²⁹¹【大】 大正藏に校注なし。
- ²⁹²无²⁹²無²⁹²【大】 大正藏に校注なし。
- ²⁹³无²⁹³無²⁹³【大】 大正藏に校注なし。
- ²⁹⁴脩²⁹⁴無²⁹⁴【大】 大正藏に校注なし。
- ²⁹⁵无²⁹⁵無²⁹⁵【大】 大正藏に校注なし。
- ²⁹⁶无²⁹⁶無²⁹⁶【大】 大正藏に校注なし。
- ²⁹⁷无²⁹⁷無²⁹⁷【大】 大正藏に校注なし。
- ²⁹⁸无²⁹⁸無²⁹⁸【大】 大正藏に校注なし。

- 2 此虚空藏菩薩若演一句之義若一劫若滅³⁰⁹
- 3 一劫說不可盡辯亦无³⁰⁰ 断虚空藏菩薩有如
- 4 是无³⁰¹ 量无³⁰² 辺不可思議无³⁰³ 盡辯才爾時宝手
- 5 菩薩以手遍覆妙宝莊嚴堂於其手中出无³⁰⁴
- 6 量華³⁰⁵ 香瓔珞末香塗香衣服嚴身之具及諸
- 7 幢幡妙蓋雨如是等上妙供具供養如來及
- 8 虚空藏於上空中百千音樂不鼓自鳴於諸
- 9 音中出諸妙偈以讚如來
- 10 持徳開徳具百福 上意調伏念不動
- 11 沙門賢士降天人 十力仏子十方吼
- 12 大称威徳自在尊 降伏有畏除癡闇
- 13 能度漂流諸天人 閉惡趣門使清涼
- 14 聖尊巧説音微妙 无³⁰⁶ 錯无³⁰⁷ 謬意³⁰⁸ 怡³⁰⁹ 静
- 15 三界无³¹⁰ 等无³¹¹ 二垢 十方所説施衆樂
- 16 意念堅固衆寂靜 最勝十力³¹² 降彼力
- 17 已捨詔曲得甘露 无³¹³ 有塵累衆調御³¹⁴
- 18 世尊処衆不動転 而化十方无³¹⁵ 量衆
- 19 随衆生行能随順 仏子亦樂脩³¹⁶ 此行
- 20 如日无³¹⁷ 翳能普照 能令衆華得開敷
- 21 仏智慧光照長流 諸子得悟亦如是
- 22 如風无³¹⁸ 礙山不動 淨如虚空照如日
- 23 仏子放光雨甘露 是故我礼仏及子

299 滅³⁰⁰ 減【大】 大正蔵に校注なし。「滅」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「滅？」（朱書）あり。

300 无³⁰¹ 無【大】 大正蔵に校注なし。

301 无³⁰² 無【大】 大正蔵に校注なし。

302 无³⁰³ 無【大】 大正蔵に校注なし。

303 无³⁰⁴ 無【大】 大正蔵に校注なし。

304 无³⁰⁵ 無【大】 大正蔵に校注なし。

305 華³⁰⁶ 花【大】 大正蔵に校注なし。

306 无³⁰⁷ 無【大】 大正蔵に校注なし。

307 无³⁰⁸ 無【大】 大正蔵に校注なし。

308 意³⁰⁹ 音【大】 大正蔵に校注なし。

309 怡³¹⁰ 恬【大】 大正蔵に校注なし。「怡」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「恬」（朱書）あり。

310 无³¹¹ 無【大】 大正蔵に校注なし。

311 无³¹² 無【大】 大正蔵に校注なし。

312 力³¹³ 方【大】 大正蔵に校注なし。

313 无³¹⁴ 無【大】 大正蔵に校注なし。

314 調御³¹⁵ 帰仰【大】

315 无³¹⁶ 無【大】 大正蔵に校注なし。

316 脩³¹⁷ 修【大】 大正蔵に校注なし。

317 无³¹⁸ 無【大】 大正蔵に校注なし。

318 无³¹⁹ 無【大】 大正蔵に校注なし。

24 大千海水尚可量 十方虛空猶可涉

(第十一紙) T13p121c23~

- 1 諸衆生心尚³¹⁹可同 世尊功德不可盡
- 2 說此偈已時魔波旬嚴四種兵來詣仏所到³²⁰
- 3 已化作長者形前礼仏足在一面立而白仏
- 4 言希有世尊此諸大士乃能成就如是不可
- 5 思議種種神變又能示現不可思議莊嚴
- 6 之事世尊於未來世有幾所衆生聞此不可
- 7 思議神變而得開悟決定不疑者也仏告魔
- 8 波旬言於未來世中少有衆生若一若二聞
- 9 此不可思議神變經典得信解者少耳波旬
- 10 喻如一毛析為百分以一分毛於大海中取一
- 11 滴³²¹水於汝意云何取者多邪³²²在者多邪³²³波旬
- 12 言世尊取者甚少在者甚多仏復告波旬言
- 13 如海中所取水甚少衆生聞是不可思議神
- 14 變經典能信解者少亦如是如大海中水在
- 15 者甚多不信解不可思議神變經典者多亦
- 16 如是仏復告波旬若有一人於恒河沙等劫
- 17 日日以滿三千大千世界滿中珍宝持用布
- 18 施不如善男子善女人聞是不可思議神變
- 19 經典能信解者其福甚多所以者何波旬若
- 20 有信解是經典者則知其人親從釈迦牟尼
- 21 如來聞此³²⁴經典信解³²⁵疑何以故波旬若未
- 22 種善根衆生聞此世所難信經典能信解者
- 23 无³²⁶有是処波旬我般涅槃後法欲滅時多有

(第十一紙) T13p122a28~

1 憍慢衆生彼諸衆生着我所說文字不知方

³¹⁹ 「尚？」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「尚」（朱書）あり。
³²⁰ 大正蔵の校注に「不分卷、〔大方…七〕十字一（聖）、また「不分卷、〔大方等…譯〕二十字一（聖）」とある。

³²¹ 滴＝滲【大】
³²² 邪＝耶【大】 大正蔵に校注なし。
³²³ 邪＝耶【大】 大正蔵に校注なし。
³²⁴ 此＝是【大】
³²⁵ 无＝無【大】 大正蔵に校注なし。
³²⁶ 无＝無【大】 大正蔵に校注なし。

- 2 便故各各生於諍競捨思惟法捨已正行為
- 3 利養名譽衣服飲食自纏縛故樂論世俗種
- 4 種諸事及世典文辭而不論第一実義不樂
- 5 翫習仏无³²⁷上道及³²⁸向他人譏論如是等真実
- 6 深妙經典則為誹謗諸仏種³²⁹集无³³⁰量大苦惱
- 7 聚魔神諸天佐助彼人為利養恭敬及名聞
- 8 故重增放逸³³¹慢彼諸人等以³³²慢故若見
- 9 有持戒賢行比丘受持誦誦此經典者而輕
- 10 慢憎嫉橫生謗毀彼諸愚人則為現世破犯
- 11 禁戒其中或有畏不活者或³³³慙³³⁴耻於人者佞
- 12 被袈裟或有捨戒還附俗者如是等人身壞
- 13 命終墮阿鼻地獄受諸苦報仏復告波旬於
- 14 未來世中若有求菩薩乘衆生着諸因緣善
- 15 根微淺新發道意但着文字不能了義於如
- 16 是等甚深經典受持誦誦為人說時則為他
- 17 人所見輕賤陵蔑以為他³³⁵所輕賤陵蔑故便
- 18 捨如是等甚深經典誦誦聲聞辟支仏相応
- 19 經³³⁶為利養名譽種種所須之所纏縛故反誹
- 20 謗毀皆如是真実甚深經典又復輕賤受持
- 21 誦誦此經典者乃至不欲以眼觀之常樂卑
- 22 行退失菩薩大乘之法所謂退失淳至心及
- 23 深心魔神諸天得如是等人便故勤作方便
- 24 壞乱其心乃至使令不聞如是等經設当聞

(第十一紙) T13p122b23~

- 1 者生大誹謗无³³⁷有信心此人亦復積集无³³⁸量
- 2 羅³³⁹聚成就破法重業永離三宝不得見仏聞

³²⁷ 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
³²⁸ 及||反【大】 大正蔵に校注なし。「及」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「反」(朱書)あり。
³²⁹ 種||積【大】
³³⁰ 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
³³¹ 傲||傲【大】 大正蔵に校注なし。
³³² 傲||傲【大】 大正蔵に校注なし。
³³³ 慙||慙【大】 大正蔵に校注なし。
³³⁴ (人)+【大】 大正蔵に校注なし。
³³⁵ (典)+【大】
³³⁶ 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
³³⁷ 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
³³⁸ 羅||罪【大】 大正蔵に校注なし。「羅」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「罪」(朱書)あり。

- 3 法及供養僧所以者何波旬以於如來所說
- 4 法律中生疑猶豫故
- 5 爾時魔波旬自見有過憂愁惶恐前礼仏足
- 6 在一面立時虛空藏菩薩問魔波旬言汝何以憂愁³³⁹ 悸戰慄息狀如失志人在一面
- 7 立³⁴⁰邪魔波旬答言善男子我從如來聞說如是等可畏之事是故以為憂愁恐怖當隨何趣誰當救我我於如來所說法律之中數作
- 11 无³⁴¹量諸留難事是故憂耳虛空藏言波旬仏法之中有出罪法汝可來至世尊所可誠心
- 13 懺悔所作諸惡更莫復作若能如是可獲善
- 14 利為不空過爾時天魔波旬即前五体投地
- 15 礼世尊足下仰視如來流淚涕泣而白仏言
- 16 世尊我今誠心懺悔從昔以來於如來所說
- 17 法律之中數作³⁴²无量諸留難事唯願世尊起
- 18 大悲心以慈愍故願受³⁴³我懺悔仏言善哉³⁴⁴
- 19 波旬汝乃能自見所作諸惡為上善哉能如是悔過罪者於仏法中則為弘広如來法藏
- 20 諸仏亦受其人悔過是故汝今勿更復作爾
- 22 時世尊告衆菩薩言諸賢士汝等各說過魔
- 23 界行法為生憐愍魔波旬故
- 24 爾時衆中有一菩薩名金山王在衆中坐即

(第十四紙) T13p122c18~

- 1 白仏言世尊若有防護内界者則為未過魔
- 2 界若復有菩薩見一切諸界同仏界者知此
- 3 仏界即是非界是為菩薩能過魔界爾時宝
- 4 德菩薩白仏言世尊有依倚³⁴⁵巢窟者是為魔
- 5 界若有菩薩不倚³⁴⁶巢窟知一切法³⁴⁷无得相者

³³⁹ 焦³³⁹ 焦【大】 大正蔵に校注なし。
³⁴⁰ 邪³⁴⁰ 邪耶【大】 大正蔵に校注なし。
³⁴¹ 无³⁴¹ 无³⁴¹【大】 大正蔵に校注なし。
³⁴² 无³⁴² 无³⁴²【大】 大正蔵に校注なし。
³⁴³ [我] - 【大】 大正蔵に校注なし。
³⁴⁴ [善哉] + 【大】
³⁴⁵ 巢³⁴⁵ 巢³⁴⁵【大】 大正蔵の校注には「³⁴⁵巢³⁴⁵」とある。
³⁴⁶ 巢³⁴⁶ 巢³⁴⁶【大】 大正蔵に校注なし。
³⁴⁷ 无³⁴⁷ 无³⁴⁷【大】 大正蔵に校注なし。

- 6 則能為諸衆生説斷倚巢³⁴⁸窟法是為菩薩能
- 7 過魔界
- 8 爾時宝手菩薩白仏言世尊若有取我所
- 9 者是為魔界若有菩薩不取我所者則无³⁴⁹
- 10 諍競以无³⁵⁰諍競故則无³⁵¹心行況当有魔界邪³⁵²
- 11 是為菩薩能過諸魔界
- 12 爾时无³⁵³諍勇菩薩白仏言世尊若有触有離
- 13 則有諍訟有諍訟者魔得其便若无³⁵⁴触无³⁵⁵離
- 14 自不諍訟亦不令他諍訟以得无³⁵⁶我故无³⁵⁷惱
- 15 行者能過魔界
- 16 爾時宝思菩薩白仏言世尊若有忘³⁵⁸想分別
- 17 則是煩惱及有煩惱処則是魔界若有菩薩
- 18 知一切諸法无³⁵⁹相貌者於諸煩惱則无³⁶⁰忘³⁶¹想
- 19 若内若外亦不別知去離一切忘³⁶²想分別故
- 20 是為菩薩能過魔界
- 21 爾時樂作菩薩白仏言世尊若有樂不樂処
- 22 則有憎有愛若有憎有愛則是魔界若有菩
- 23 薩去離憎愛平等行者於諸法中则无³⁶³二想
- 24 得入不可思議界是為菩薩能過魔界

(第十一五紙) T13p123a14~

- 1 爾時離淨³⁶⁴菩薩白仏言世尊魔界由我而起
- 2 若菩薩能知我者得无³⁶⁵我忍即知我淨知我

348	巢	無	大	大正藏に校注なし。
349	无	無	大	大正藏に校注なし。
350	无	無	大	大正藏に校注なし。
351	无	無	大	大正藏に校注なし。
352	邪	耶	大	大正藏に校注なし。
353	无	無	大	大正藏に校注なし。
354	无	無	大	大正藏に校注なし。
355	无	無	大	大正藏に校注なし。
356	无	無	大	大正藏に校注なし。
357	无	無	大	大正藏に校注なし。
358	忘	妄	大	大正藏に校注なし。
359	无	無	大	大正藏に校注なし。
360	无	無	大	大正藏に校注なし。
361	忘	妄	大	大正藏に校注なし。
362	忘	妄	大	大正藏に校注なし。
363	无	無	大	大正藏に校注なし。
364	淨	諍	大	大正藏に校注なし。
365	无	無	大	大正藏に校注なし。

- 3 淨故知一切法淨知一切法淨故知諸法性
- 4 淨如虛空是為菩薩能過魔界
- 5 爾時法自在菩薩白仏言世尊若順煩惱法
- 6 為愛所使者魔則得其便世尊若有菩薩於
- 7 諸法中最得自在自然開悟以為諸仏之所
- 8 授記於菩提法終不退轉是為菩薩能過魔
- 9 界
- 10 爾時山相擊王菩薩白仏言世尊若心有缺
- 11 漏則是魔界若菩薩戒无缺漏心无缺漏成
- 12 就一切諸空法行者是為菩薩能過魔界
- 13 爾時喜見菩薩白仏言世尊若不見仏不
- 14 聞法者魔得其便若有菩薩常見諸仏而不
- 15 着色象常聽諸法而不着文字以見法故則
- 16 為見仏以无言說故能聽諸法是為菩薩能
- 17 過魔界
- 18 爾時帝網菩薩白仏言世尊若有恃有動則
- 19 是魔界若菩薩善相順精進知一切法究竟
- 20 无成就相故不恃不動是為菩薩能過魔界
- 21 爾時德明王菩薩白仏言世尊若有行二法
- 22 者則魔得其便若有菩薩知一切法同於法
- 23 性則不見魔界与法性有異解知法性与魔
- 24 界等以不二相故是為菩薩能過魔界

(第二十六紙) T13p123b10~

- 1 爾時香象菩薩白仏言世尊若有菩薩怯弱
- 2 畏甚深法者則魔得其便若有勇健菩薩善
- 3 能通達三解脱門於甚深法不敬不畏以能
- 4 現在證知諸法実性故是為菩薩能過魔界
- 5 爾時弥勒菩薩白仏言世尊喻如大海水中

366 王音【大】 大正蔵に校注なし。
 367 无無【大】 大正蔵に校注なし。
 368 无無【大】 大正蔵に校注なし。
 369 象像【大】 大正蔵に校注なし。
 370 无無【大】 大正蔵に校注なし。
 371 无無【大】 大正蔵に校注なし。
 372 怯性【大】 大正蔵に校注なし。
 373 〔有〕一【大】 大正蔵に校注なし。
 374 敬驚【大】 大正蔵に校注なし。「敬」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「驚」(朱書)あり。
 375 在前【大】 大正蔵に校注なし。

- 6 同一鹹味仏法海中亦復如是同一法味所
- 7 謂解脫味離欲味若菩薩善解一味法者是
- 8 為菩薩能過魔界
- 9 爾時虛空藏菩薩白仏言世尊喻如虛空究
- 10 竟**无**³⁷⁷垢究竟明淨究竟不為一切**烟**³⁷⁸塵雲霧
- 11 之所**于**³⁷⁹繞菩薩亦復如是心如虛空知一切法
- 12 性常清淨亦復不為客塵煩惱之所**于**³⁸⁰繞
- 13 得度般若波羅蜜彼岸離諸闇冥於諸法得
- 14 慧光明者是為菩薩能過魔界
- 15 爾時文殊師利法王子菩薩白仏言世尊若
- 16 有言語則有滯礙若有滯礙則是**魔**³⁸¹界若法
- 17 不為一切言說所表者乃**无**³⁸²滯礙何謂法不
- 18 可言說所謂第一義其第一義中亦**无**³⁸³文字
- 19 及義若菩薩能行第一義諦於一切法盡**无**³⁸⁴
- 20 所行是為菩薩能過魔界**无**³⁸⁵所過故
- 21 爾時世尊告波旬言汝聞說過魔界法不也
- 22 波旬白仏言世尊唯然已聞仏言波旬若有
- 23 行如是等法者一切諸**魔无**³⁸⁶如之何若有諸
- 24 魔欲於行人起魔事者終不能**辯**³⁸⁷而更成就

(第117紙) T13p123c05~

- 1 **无**³⁸⁸量罪聚是故波旬汝可發阿耨多羅三藐
- 2 三菩提心於如是過魔界法心堅持奉行汝
- 3 若能如是行者則能過一切諸魔国界波旬
- 4 喻如百³⁸⁹年垢膩可於一日浣令鮮淨如是於

³⁷⁶ 水中＝中水【大】 大正蔵に校注なし。
³⁷⁷ 无＝無【大】 大正蔵に校注なし。
³⁷⁸ 烟＝煙【大】 大正蔵に校注なし。
³⁷⁹ 于＝于【大】 大正蔵に校注なし。「于」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「于」(朱書)あり。
³⁸⁰ 于＝于【大】 大正蔵に校注なし。
³⁸¹ 「是」の右上に「又？」あり。
³⁸² 「魔」の右上に「是」あり。
³⁸³ 无＝無【大】 大正蔵に校注なし。
³⁸⁴ 无＝無【大】 大正蔵に校注なし。
³⁸⁵ 无＝無【大】 大正蔵に校注なし。
³⁸⁶ 无＝無【大】 大正蔵に校注なし。
³⁸⁷ 无＝無【大】 大正蔵に校注なし。
³⁸⁸ 辯＝辦【大】 大正蔵に校注なし。
³⁸⁹ 无＝無【大】 大正蔵に校注なし。
³⁹⁰ 【千】＋【大】

- 5 百千劫中所集諸不善業以仏法力故善順
- 6 思惟於一日一時盡能消滅波旬如有乾草
- 7 積大如須弥以少火投中速能燒盡如是以
- 8 少慧力故能除滅³⁹²无³⁹³量諸闇冥聚何以故波
- 9 旬慧明勇猛故³⁹⁴无³⁹⁵明劣弱故時魔波旬即作
- 10 是念大慈世尊今憐愍我而能為我說菩提
- 11 心法我今宜応於如來所種少善根於是波
- 12 旬即化作八万四千殊妙宝蓋及³⁹⁶无³⁹⁷量華鬘
- 13 **纓絡**³⁹⁸末香塗香而告己眷属言諸仏世尊出
- 14 世甚難卿等諸人咸応共來至世尊所為供
- 15 養故爾時魔天眷属中有八万四千衆及魔
- 16 波旬各共持殊妙宝蓋及³⁹⁹无⁴⁰⁰量華香**纓絡**⁴⁰¹末
- 17 香塗香至世尊所設供養已皆發阿耨多羅
- 18 三藐三菩提心諸余魔眷属諸天不發菩提
- 19 心者形相嗤⁴⁰²咲⁴⁰³譏論波旬復言希有波旬乃
- 20 能於沙門瞿曇前⁴⁰⁴作⁴⁰⁵現如是⁴⁰⁶薦⁴⁰⁷信之相状如
- 21 至親所以然者波旬或欲於沙門瞿曇所學
- 22 呪幻方術是故今於面前現善讚誉耳

(第118紙) T13p123c27~

- 1 爾時魔子醜面及余魔子等悉⁴⁰⁸无⁴⁰⁹信心各說
- 2 是言假使沙門瞿曇以諸方術迴轉魔王者
- 3 我等⁴¹⁰其⁴¹¹当設諸方便令如是等經不得流布
- 4 設使流布者亦当令少有護助信受行者亦
- 5 令甚少⁴¹²常⁴¹³為多人之所薄賤輕弄常墮辺方
- 6 不令中国之所宣伝唯使諸⁴¹⁴无⁴¹⁵威德貧窮衆
- 7 生当得聞之常為諸大威德豪富之人不信

391 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 392 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 393 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 394 纓絡||瓔珞【大】 大正蔵に校注なし。
 395 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 396 纓絡||瓔珞【大】 大正蔵に校注なし。
 397 咲||笑【大】 大正蔵に校注なし。
 398 作||詐【大】 大正蔵に校注なし。
 399 薦||篤【大】 大正蔵に校注なし。
 400 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 401 其||共【大】 大正蔵に校注なし。
 402 常||当【大】 大正蔵に校注なし。
 403 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

8 誹謗也

9 大方等大集經卷第十六

10 皇后藤原氏光明子奉為

11 尊孝贈正一位太政大臣府君尊妣贈從

12 一位橘氏太夫人敬写一切經論及律莊

13 嚴既了伏願憑斯勝因奉資冥助永庇

14 菩提之樹長遊般若之津又願上奉

15 聖朝恒延福寿下及寮采共盡忠節又

16 (第二十九紙)

17 光明子自發誓言弘濟沈淪勤除煩障

18 妙窮諸法早契菩提乃至伝灯無窮

19 流布天下聞名持卷獲福消災一切迷

20 方会帰覺路

21 天平十二年五月一日記

22 (後補軸付紙)

23 昭和二年十一月修理之

24 帝室博物館総長大島義脩 (花押)

25 董事奈良帝室博物館長久保田鼎 (花押)